**個別・普遍・特殊の概念について（ものごと・できごと・人の力の理解のために）**

**特別であること**

**≪普通≫を超えていること**

**見える要素**

**見えない要素**

特　殊

**全てに共通の性質**

**一般的な性質**

**個々別々**

**一つ一つ**

一　般

（普遍）

個　別

**見え易い**

**分かり易い**

**見えない**

**抽象**

**「特殊」の事例に「普遍」の要素や「個別」の要素が端的に顕れる**

**⇒　「個別」の事例よりも「特殊」の事例を分析すると本質に迫り易い**

**⇒　「特殊」の事例への対応に「対応力・判断力」が端的に顕れる**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **〔分類項目〕** | **個別** | **一般（例）** | **特殊（例）** |
| **芸術作品** | (例) 彫刻〔音楽より目に見えるので分かり易い〕 | 多数の存在　⇒グループ化(例) ギリシャ彫刻・人物彫刻・・・ | 装飾・置物などとしての価値もあるが「美」が最も高い普遍的な価値〔問〕：「美とは何か？」 | 「ミロのヴィーナス」 |
| **できごと** | 部活中のケガへの指導者の対応力 | ケガは，全国・県全体では多くの件数(どこでも起こり得る) | ・指導者が適切な対応や指示ができれば対応終了・計画的な練習や予防的な準備が十分ならば起こり難い | 指導者が不在，指導者の対応が適切でない，大ケガなど　⇒　特殊性が増す |
| 問題行動（喫煙など）の指導 | 全国・県全体では多くの件数(どこでも起こり得る) | ・生徒の判断力が高ければ発現し難　い・周知の「制服」は抑止力になる | 昼間に「制服」で多数が近くの空き地で喫煙　⇒　特殊性が増す |
| **人間力** | 知的力の水準〔目に見えないし，複雑で分かり難い〕 | 知的力には複数の領域があり，一人一人に個別の力がある | 〔一般論〕：記憶力や知識がある人は洞察力や構築力も高い　〔異論〕：他の要素も働き，相関は余り無いのではないか | 「記憶力や知識の領域」「洞察力・場面把握力」「組立力・段取力」などが全て高い人は稀有 |
| 感性の水準〔知的力と人間性の複合の力でさらに分かり難い〕 | 「全ての人」に備わっていて，感情としても解されるので個人の「違い」としか認識され難い | 〔一般論〕：感性は喜怒哀楽の感情　　　　　　　として顕在化しやすい⇒　感性は「多くの人」に共通しほぼ同質である〔異論〕：感性には明確な水準の違　　　　　いがある | ・極めて「高い水準の人，鋭い人」と，極めて「低い水準の人，鈍い人」の対比・「鈍感力」の価値 |